

HyAS & Co.

Hyper Asset Solutions

2019年4月期 第2四半期

決算説明会レポート

1. エグゼクティブ・サマリー
2. 第2四半期の決算状況
3. 2019年4月期・業績予想
4. 直近実施している主な施策

サマリー

■ エグゼクティブ・サマリー

- 今後の成長のための投資を実施し、前期より経費が増加。前期比で増収増益となるも、ほぼ計画通りの損益となる。

■ 第2四半期の決算状況

- 売上高27.6億円（前年同期比+5.4億円）、経常利益1.3億円（前年同期比-0.1億円）。
- R+house事業を中心に、会員企業の成果に連動するロイヤルティ等が伸長する一方、人員、広告宣伝・販促、償却費等の経費が増加。

■ 2019年4月期・業績予想

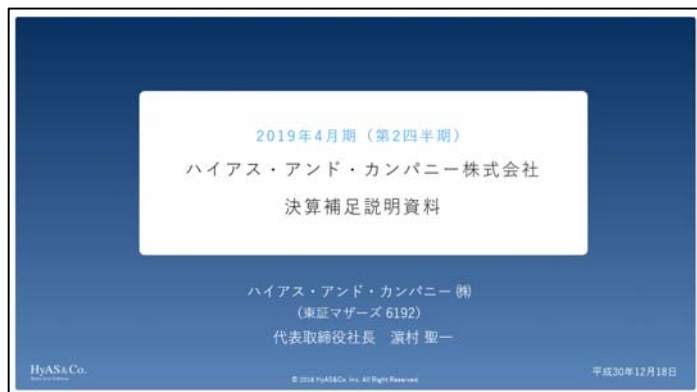
- 売上高は63.0億円（前期比+16.4億円）経常利益は4.7億円（前期比+1.1億円）を見込む。
- 増配を実施。配当性向は30%を目安。1株配当3.4円。

■ 直近実施している主な施策

- 子会社への投資…事業の垂直統合を推進し、ノウハウを蓄積中。
- 広告宣伝活動…SNS・ウェブを活用し、消費者向けセミナーの参加申込者数が増加。
- その他施策…「建築家住宅」の供給戸数 全国No.1^(※)に。R+houseがAskDoctors評価サービスによる認定を取得。Rakuten STAY HOUSE × WILL STYLE 1号店の稼働が好調。

※2017年度建築家住宅供給数 No.1 < (株) 矢野経済研究所調べ 2018年10月現在 >
建築家住宅（建築士の資格を有する独立した建築家により基本設計された住宅）を供給する主要供給事業者9社における2017年度供給数

1. エグゼクティブ・サマリー



本日はお集まりいただきましてありがとうございます。ハイアス・アンド・カンパニーの取締役執行役員の西野と申します。

目次	
01 エグゼクティブ・サマリー	Executive Summary 3
02 第2四半期の決算状況	Financial Results for FY2019 2Q 7
03 2019年4月期・業績予想	FY2019 Outlook 14
04 直近実施している主な施策	Latest Concrete Measures 20
ハイアス・アンド・カンパニー 株式会社概要 他 29	

HyAS&Co. © 2019 HyAS&Co. Inc. All Right Reserved 2

お手元の資料にもございますとおり、本日は全体的なエグゼクティブサマリーののち、第2四半期の決算の状況、2019年4月期の業績予想、そして最近実施している主な施策について進捗も含めて皆さまにお伝えしていきたいと考えております。



決算ハイライト

2019年4月期 2Q・PLサマリー

		前期比	予想比
売上高	27.6 億円	+ 5.4 億円 (+24.3%)	+ 0.3 億円 (+1.2%)
売上総利益	18.1 億円	+ 4.6 億円 (+34.2%)	- 1.1 億円 (-5.6%)
営業利益	1.3 億円	- 0.1 億円 (-9.3%)	+ 0.4 億円 (+41.9%)
経常利益	1.3 億円	- 0.1 億円 (-8.0%)	+ 0.6 億円 (+91.3%)
当期純利益	0.6 億円	- 0.1 億円 (-17.9%)	+ 0.4 億円 (+220.0%)

主カビジネスの進捗

- ・今後の成長のための投資を実施し、前期より経費が増加。前期比で増収減益となるも、ほぼ計画通りの損益となる。
- ・R+house本部事業では、ロイヤルティ等を中心に伸長。
- ・通期予想の進捗は売上高 43.7%、経常利益 27.8%。

HyAS&Co.
© 2019 HyAS&Co. Inc. All Rights Reserved. 4

全体の概要ですが、大きくは予想を崩さずに計画どおり進んでいます。ただし、これまでは前期比で増収、増益が続いていたのですが、今期は減益になってしまい、利益が少し減少してしまっています。しかし、そもそもの予想と比較しますと、計画よりも上回っていますので、我々としては計画どおり進捗できているとみております。

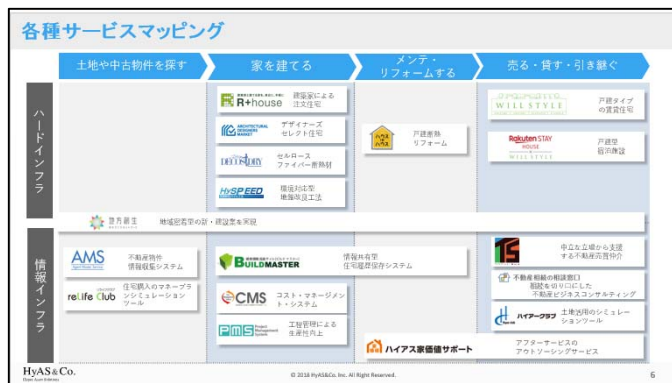
また、主力になっておりますR+house本部事業ですが、こちらに関しましては引き続きロイヤルティ等というのが非常に順調に伸びています。

これは、会員企業さまの売上が増加してきているということですので、好意的にみているところになります。通期の予想進捗になりますが、これも後ほどまたお伝えしますが、弊社は例年後ろ倒しになる傾向がありますので、現在の通期予想の進捗は売上高 43.7%、経常利益で27.8%となっています。

こちらに関しても我々の中では予想どおりの進捗と考えております。



毎回このページは出していますが、引き続き「住宅による資産形成を支える会社」として、様々な施策をおこなっていきます。



我々が提供しているサービスにつきましては、今まで表現していた形式を再整理致しました。これまでサービスのリリースの年次順に商品を並べて表現していたのですが、今回はユーザーの方がどのタイミングで我々のサービスに接していただいているかの観点でまとめました。

まずは、土地や中古物件を探されるところからスタートして、実際に家を建てる。その後、メンテナンス、リフォームをし、最終的にはその建物を売却したり、貸したり等、資産活用につなげていく、というそれぞれのステージで我々がどのようなサービス展開をしているかの観点でまとめております。

上段がハードの部分でして、主力のR+ houseが家を建てるところから始まり、メンテの部分でハウスINハウス、また「貸す」ということでは、最近ですとRakuten STAY HOUSE×WILL STYLEという戸建ての宿泊施設があります。下段は情報インフラですが、各種データベースをまとめるものや、ハイアス家価値（現在はハイアス家価値60年サポート）なども提供しております。

2. 第2四半期の決算状況



次に、第2四半期の決算状況についてお伝えしていきます。

連結P/Lサマリー(前期比)

項目	2018年4月期2Q	2019年4月期2Q	増減	
	実績 2017/01~2017/03/31	実績 2018/01~2018/03/31		
売上高	2,216	2,755	+539	124.3%
売上総利益	1,351	1,812	+461	134.2%
売上総利益率	61.0%	65.8%	-	-
販売費及び一般管理費	1,234	1,680	+446	139.4%
営業利益	146	132	-14	90.7%
営業利益率	6.6%	4.8%	-	-
経常利益	143	132	-11	92.0%
経常利益率	6.5%	4.8%	-	-
特別利益	-	-	-	-
非営利団体に帰属する当期純利益	78	64	-14	82.1%
当期純利益率	3.5%	2.3%	-	-

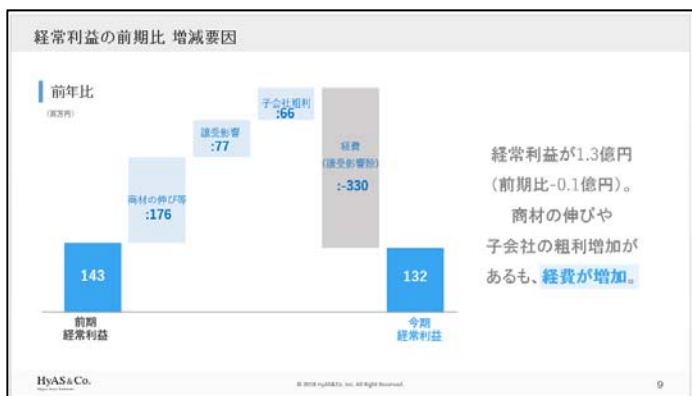
前期比で、増収減益。

売上高27.6億円
(前期比+5.4億円)

経常利益1.3億円
(前期比-0.1億円)

HyAS&Co. © 2018 HyAS&Co. Inc. All Right Reserved. 8

冒頭にもお伝えしましたとおり、前期比で見ますと増収、減益です。売上は今期も伸ばすことができたのですが、経常利益のほうでは減益ということになりました。



こちらの内訳になりますが、この図で示すとおり商材からの利益の伸びはできています。また、前下期の事業の譲り受けのプラスの影響もあります。

新たにつくった子会社等の粗利もプラスの要因として出てきております。全体的として利益が減益になった原因としては、経費の部分非常に大きくなっています。

つまり、トップラインの部分、事業としては成長しているものの、コストを掛けていったということです。

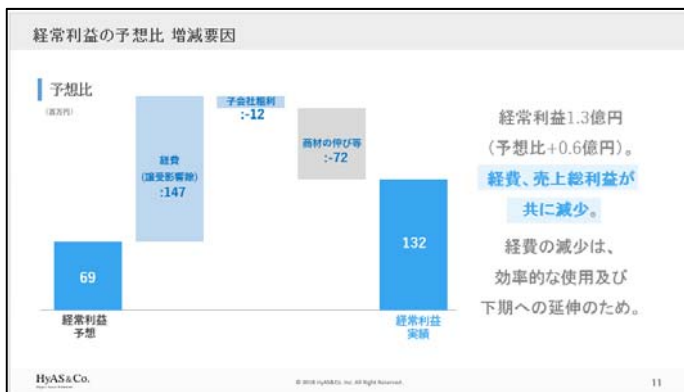
連結P/Lサマリー(予想比)

	2019年4月期2Q 予想 2018/5/1~2018/10/31	2019年4月期2Q 実績 2018/5/1~2018/10/31	増減	
売上高	2,721	2,755	+34	101.2%
売上原価	850	942	+142	117.9%
売上総利益	1,920	1,812	-108	94.4%
営業利益	93	132	+39	141.9%
経常利益	69	132	+63	191.3%
当期純利益	20	64	+44	320.0%

予想比で、増収増益。
売上高27.6億円
(予想比+0.3億円)
経常利益1.3億円
(予想比+0.6億円)

このように上期は減益になりますが、これに関しましては次の10ページの予想値との比較でわかるように、当初より織り込み済みです。

予想比ですと増収、増益ということで、我々としては順調に進めていると思っております。



経常利益の予想比の増減要因ですが、昨年対比で見ると減益にはなっていますが、予想と比較すると経費と売上総利益が共に減少し、結果としては予想比ではプラスになっています。

この経費の部分につきましては後ほど説明しますが、一つとしては、もともと計画していた経費が効率的に利用でき予想より抑えられたということ、もう一つとしては、いくつかの施策を下期に延期したということがあります。

この2つの要因で経費の額が上期で予想より少し抑えられました。

販管費の内訳

	2018年4月期 2Q実績 2017/5/1~2017/10/31	2019年4月期 2Q実績 2018/5/1~2018/10/31	増減	
販売費及び一般管理費	1,204	1,680	+476	
給与/法定福利費	349	490	+141	
広告宣伝・販促費/旅費	336	378	+42	
家賃	72	103	+31	
減価償却費	21	95	+74	
その他	426	615	+189	

前期比で、4.8億円増加。
人員、広告宣伝・販促や設備投資(償却費)等、今後の成長に向けた投資を実施。

販管費の内訳ですが、一番大きなものは人件費になります。これは現在、事業を拡大しているところであり、また子会社も増やしてきておりますので、会社の成長に向けて人件費が先行していることとなります。

また、後ほど少し触れさせていただきますが、前期に引き続き今期も広告宣伝費を積極的に投下しております。さらに、設備投資等もやっております。大きくこの3点が昨年に比べて大きく販管費が増えた理由となっています。

連結B/Sサマリー

資産の部			負債・純資産の部				
2018年 4月期	2019年 4月期	増減	2018年 4月期	2019年 4月期	増減		
(4Q)	(2Q)		(4Q)	(2Q)			
現金及び預金	751	949	+198	買掛金	236	271	+35
受取手形及び 売掛金	352	480	+128	短期借入金	200	700	+500
その他	214	371	+157	1年以内返済予定の 長期借入金	101	101	-
繰前引当金	-19	-25	-6	その他	549	692	+143
流動資産	1,299	1,775	+476	流動負債	1,096	1,784	+678
有形固定資産	404	585	+181	長期借入金	403	262	-141
無形固定資産	594	632	+38	その他	14	49	+35
投資その他の資産	244	324	+80	固定負債	417	401	-16
固定資産	1,243	1,541	+298	負債	1,503	2,166	+663
資産合計	2,542	3,317	+775	資本金	354	400	+46
				資本剰余金	298	334	+36
				利益剰余金	650	694	+44
				繰上利益	-299	-299	-
				繰上利益	1,014	1,130	+116
				控除後利益	14	19	+5
				純資産	1,039	1,151	+112
				負債・純資産	2,542	3,317	+775

モデルハウス、オフィス増床、敷金及び保証金等の**固定資産が増加**。
その調達として、追加の**借入を実施**。
売掛金の増は、ロイヤルティ等の増加によるもの。

HyAS&Co. © 2019 HyAS&Co. Inc. All Rights Reserved. 13

次にBSのほうも触れておきます。今後の売り上げを上げていくため、またノウハウを構築するためにモデルハウスの展開をおこなったこと、手狭になってきたオフィスの増床をおこなったことで固定資産が増加してきております。これに対する調達として一部借入れを実施しておりますので、負債の部分で借入金が増えています。また、大きなところで、売掛金の増がありますがこれはロイヤルティ等が増加した影響になります。

ここまでをまとめますと、昨対というところで見ますと増収、減益という形ではありますが、全体的には事業としては成長しながら次の積極投資に動いていて、結果として上期に関しては昨年対比で減益になりました。

3. 2019年4月期・業績予想



次は、2019年4月期の業績予想になります。

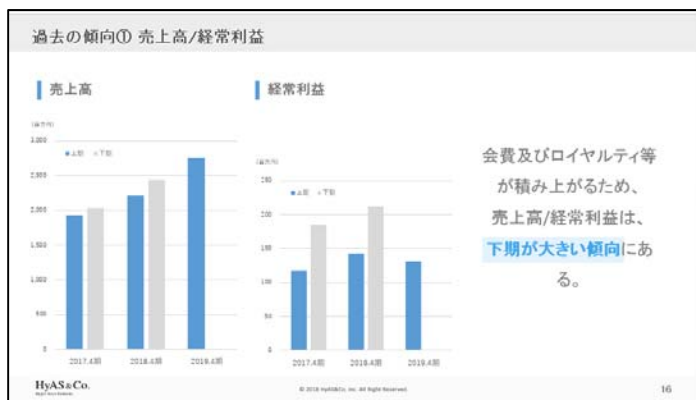
2019年4月期の通期予想

	2019年4月期 2Q予想	2019年4月期 2Q実績	2019年4月期 通期予想	進捗率 (2Q実績/ 通期予想)	(参考) 2Q予想/ 通期予想
売上高	2,721	2,755	6,300	43.7%	43.2%
売上総利益	950	942	2,100	44.5%	41.7%
営業利益	93	132	500	26.4%	18.6%
経常利益	69	132	474	27.8%	14.6%
親会社株主に帰属する (四半期)純利益	20	64	268	23.0%	7.6%
純利益率	0.7%	2.3%	4.2%	-	-

通期予想の進捗：
売上高は、
ほぼ計画通り。
経常利益は、
計画を上振れして進捗。

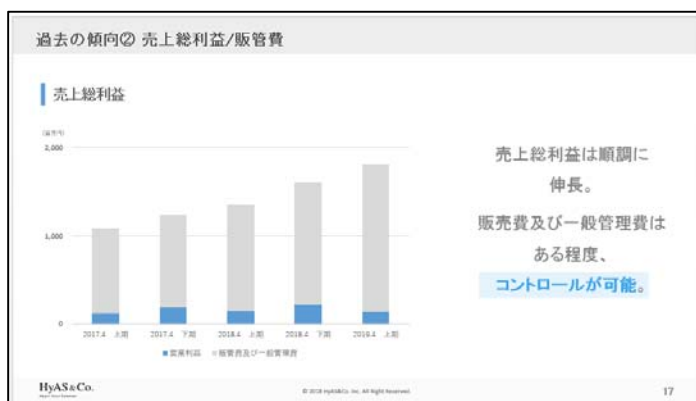
HyAS&Co. © 2019 HyAS&Co., Inc. All Right Reserved. 15

こちらに関しましては、今月に修正の開示を致しましたが、通期では当初の予定どおり着地すると予想をしております。売上高に関しましては、現在、ほぼ計画どおりに進んでおりますし、経常利益に関しましては若干上振れをしている形で進捗しておりますので、通期で見ると安定した形で着地できると思われ



ただ、毎年のごとではありますが、上期の進捗が遅れ気味に見えますので、過去の傾向をお見せします。図をみていただくと、過去は売上高が上・下、上・下という形で、必ず上期よりも下期のほうが上回ってくるというのをおわかり頂けると思います。2019年4月期に関しましても、下期が上期を上回ってくると思われます。これは、基本的には弊社は顧客のロイヤルティ等が主な収益になる構図になっていますので、期初よりも期末のほうが基本的に数字が上がるという傾向にあるためです。

経常利益に関しましても、販管費の掛け方によってばらつきが出るものの、これまでの傾向で見ますと、こちらに関しても上・下、上・下という形で下期のほうが上がっていく傾向にあります。このような過去の傾向をご覧くださいますと、このあとも期待していただいてもいいのではないかなと考えております。



売上総利益と販管費を表した17ページの図ですが、基本的に売上総利益は毎年伸びてきております。この図の青い部分が営業利益ですが、この部分はある程度は販売費及び一般管理費をコントロールすることで調整することができる余地を持っていますので、少なくとも売上総利益をしっかりと確保できているということが我々にとっての強みだと思っております。



次に、新商材の件にも触れておきます。
 新商材を出しますと、コストもかかりますが売上が伸びます。ここに過去の商材をリリース年度別で表しました。下のほうから古い年次で、新しいものが上のほうにきておりますが、図にありますように2018年度には5つの商材をリリースしました。ですので、2019年度に関しても期待を持って見ていただいてもいいと思っております。

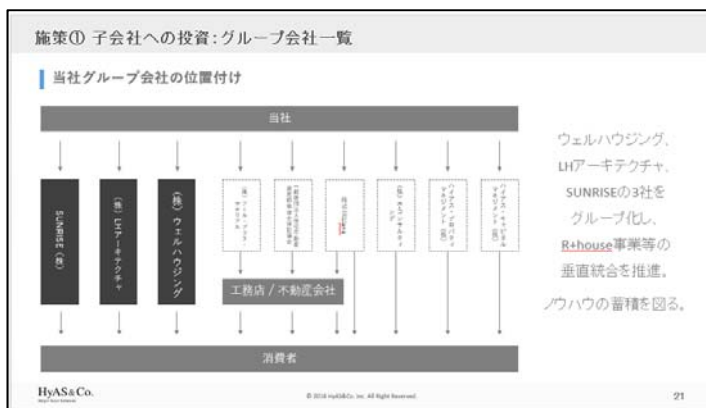


次のページですが、配当の基本方針と2019年4月配当の予想に関しましては当初の予定どおりです。配当性向30%を目安に、中間配当1.7円、期末配当1.7円と変わりなく進めていきたいと思っております。
 ここまでが2019年度の上期の振り返りと予想になりました。

4. 直近実施している主な施策



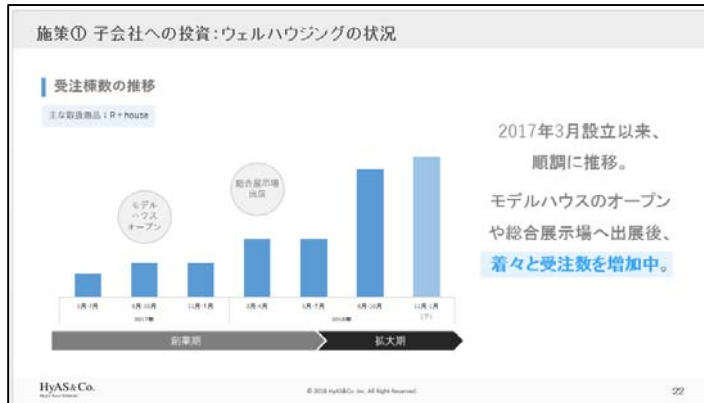
次に直近実施している主な施策について触れさせていただきます。



今期はいくつかの子会社をつくりました。現在、全部で9社の子会社がありますが、直近では、左に3つ並んでいるウェルハウジング、LHアーキテクチャ、そしてSUNRISEが新しく増えてきております。ほかのグループ会社は様々な機能を持たせた子会社としてつくっておりますが、このウェルハウジング、LHアーキテクチャ、SUNRISEの3社に関しましては、我々の商品そのものを直接消費者の方に届ける位置づけにあります。

ハイアスとしてノウハウを蓄積しつつ、他の会員企業さまへ新しいノウハウの提供ができるように作った会社ということになります。

このウェルハウジングは2017年3月設立ですので、もう1年以上たっております。こちらについて次のページで説明させていただきます。



2017年3月設立のウェルハウジングですが、この図ではクォーター単位で受注棟数をまとめております。縦軸はメモリが付いていませんが棟数になります。最初は月1棟から始まり、モデルハウスをオープンさせ、今年の4月ごろには総合展示場も出展し、結果として現在はおおよそ月間約4棟程度の受注が取れるようになってきています。月間4棟ということは年間にすると48棟。2カ所あるとして考えると1カ所に24棟というのは、十分に採算を黒で埋められるような棟数ベースになっておりますので、非常に立ち上がりとしては早いといえます。

今までのR+houseの会員企業さまの一般的なスタートは、1年目は年間2棟もいかない場合が多く、2年目になってようやく年間で4棟程度が平均値ですので、ウェルハウジングに関しては非常にスピーディーに展開ができているといえます。こちらでのノウハウをハイアスの中で蓄積し、ほかの会員企業さまに共有していく準備を整えているところです。

こちらの数字ですが、現在は2カ所合わせて4棟というふうになっていますけれども、まだ伸びる余地があると聞いておりますので、ウェルハウジングに関しては実利益、実売上の部分でも貢献してくれると期待しております。

施策① 子会社への投資：LHアーキテクチャ/SUNRISEの状況

<p>株式会社LHアーキテクチャ (2018年8月設立)</p> <p>主な取扱商品：R+house</p> <p>準拠立ち上げを自指し、モデルハウスや総合展示場出展を早い段階から始める</p>	<p>SUNRISE株式会社 (2018年11月設立)</p> <p>主な取扱商品：ハウス IN ハウス、ADM</p> <p>ハウス IN ハウス事業、アーキテクチャル・デザイナーズ・マーケット (ADM) 事業の展開を加速するために、ノウハウの蓄積とその展開を図る</p>
<div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;"> <p>モデルハウス (国分府にR+houseあり)</p>  <p>【参考】 フェルハワジング：7ヵ月後</p> </div> <div style="flex: 1;"> <p>総合展示場出展 (国分府のR+houseと併せて)</p>  <p>【参考】 フェルハワジング：13ヵ月後</p> </div> </div>	<p>断熱リフォーム</p> <p>省エネルギー・省コスト・安心信頼を実現した戸建て断熱リフォーム。オリジナル断熱パネルにより、断熱性能の向上が実現。</p> <p>デザイナーズセレクト住宅</p> <p>建築家の設計図からセレクトする新しい家づくりの仕組み。数あるプランの中から、土地の利みに合わせて最適なプランをセレクト。自分好みの家を費用を抑えながら実現することが可能。</p>

HyAS&Co. © 2018 HyAS&Co. Inc. All Right Reserved. 25

もう1つがLHアーキテクチャとSUNRISEという新しい子会社になります。LHアーキテクチャに関しては我々のR+house等々を導入していただいたロジックというトップランナーの会員企業さまとハイアスが共同でジョイントベンチャーとして立ち上げた会社になります。まだこの会社は立ち上げたばかりで、数値への貢献等ということは出てきておりませんが、様々なエリアで実際にブランディングを仕掛けていながら、先ほどのウェルハウジングとは少し異なるアプローチで、R+houseの製品を世の中に広げていくチャレンジをしております。

この画像のモデルハウスですが、こちらは成田市に出しております。もう1つの緑の中にあるものは大分です。こちらはこの年末には完成する予定です。LHアーキテクチャでは、ブランディングの仕掛け方や、未開発のエリアでどのように広げられるか、などの試行も目的としていますので、ウェルハウジングほど急に利益を出せないかもしれませんが、いろいろとデータが取れるであろうと考えております。

そしてもう1つがSUNRISEという会社になります。これまでR+houseが中心でしたが、今後の市場では必ずリフォームマーケットが出てきますので、以前からリリースしておりますハウスINハウス、断熱リフォームの商材をこの会社では扱います。さらにもう一つ、ADM、アーキテクチャル・デザイナーズ・マーケットを扱います。ADMとは、R+houseの建築家の先生たちが事前に描いたプラン（現在約430プラン）からセレクトして家を決める規格型の住宅です。こちらをこのSUNRISEという会社がノウハウの蓄積も含めてチャレンジしていくということになり、この11月に立ち上げた会社になります。このようにR+houseだけではなく、ハウスINハウス、ADMのような今後の主力になると思われる商材に関しても子会社を作っています。以上が、子会社への投資の内容となります。

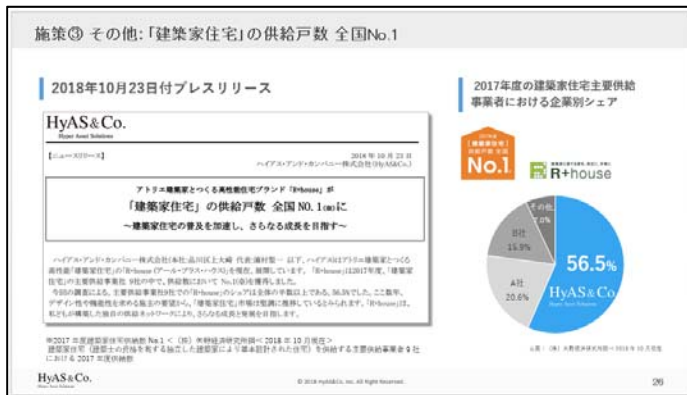


以前から販促費の使い方の内容として、広告宣伝費に使っているとお伝えしていましたが、今回お見せできるデータがありますので少しお伝えしておこうと思います。

R+houseに関する販促の一部になりますが、弊社にはコールセンターの機能を持った部署がございます。その部署が、実際にエンドユーザーの方が家を建てたいというときの問い合わせを受け、そこから会員企業さまに仕事を流す機能を持っているのですが、その部署がコールセンターとして電話を受けるだけでなく、SNS、ウェブ、メルマガというものを使って、独自に本部としてのマーケティングを実施しております。



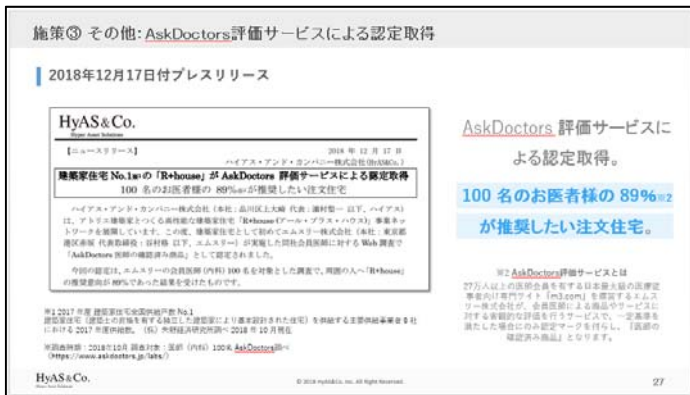
これに関して結構な投資を今までもしていたのですが、ようやくこの結果が出始めました。R+houseの1つの施策に家づくり勉強会というセミナーがあります。このセミナーで集客を掛けて、そこから家を検討していただくというステップになるという位置づけのセミナーです。そのセミナーの集客を本部サイトからやっている部分だけを抜き出したのですが、今期になって一気にこちらへのお申し込み数が伸びてきました。この家づくり勉強会に来てくださるとかなりの確率で次のステップにつながっていきますので、このセミナーは発掘機能としては非常に重要なものなのですが、これが前期比で1.7倍に増えています。これは、先ほどお伝えしたような販促、ウェブやSNSというところへのチャレンジの効果が出始めている結果だと思われるます。



次は、今後のブランディングの強みになっていくと思っている内容です。現在に至るまで弊社はこつこつとR+houseを全国で展開していましたが、今回、10月23日にプレスリリースしたとおり、「建築家住宅」というカテゴリーの中で、我々が供給戸数で全国ナンバーワンだということがわかりました。これは矢野総研の分析になります。こちらのデータですが、建築家住宅の上位9社のデータを取り、その中でシェアを見たものです。現在、この「建築家住宅」カテゴリーでは、ハイアスが56.5%のシェアを持っている、トップランナーになれているということがはっきりわかります。

これは我々が勝っているというだけではなく、全体的に建築家住宅自体のシェアが少しずつ伸びている中で、我々がトップランナーとして走れているというのは非常に好意的にみていいと思っております。また、2位、3位のA社、B社は、実は建築家住宅というカテゴリーでいくと、我々よりもずいぶんと先行して全国展開している会社なのですが、それらの会社に我々は追い付き、今は追い越した状態となります。ここからさらに「建築家住宅」をお互いに盛り上げながら、そして、現在我々は56%のシェアを持っておりますので、さらに伸ばしていきたいと思っております。

そして、こういったことがブランディングにつながると思われますので、今後もこういった部分をアピールしていこうと思っております。こういったことが結果的に、さらにR+houseのロイヤリティ等の伸びに繋がると思っております。



次ページです。まだまだ皆さんにはお伝えできておりませんが、これまでは建物の性能やデザイン性を弊社は強調しておりましたが、さらに、性能の良い建物は健康にも良いということを次の訴求の軸としていきたいと思っています。

では健康に良いというのはどこで調べられるか、ということがありますので、このAskDoctorsの評価サービスを利用しました。ここにいらっしゃる皆さま方はご存じかもしれませんが、お医者さまの会員数ナンバーワンなのが、エムスリーさまで。27万人のドクターの会員を有していて、そこでリサーチやいろいろなサービスを展開されているエムスリーさんをお願いをして、我々のサービスについてまさにアスクしていただいた結果、100名のお医者さまの中で89%の方がこの建物は健康に良い、ということで推奨して下さる結果となりました。

「健康と住宅」についてはまだまだ啓蒙も必要ではありますが、今のうちからからハイアスが提供する建物は健康にも配慮しているということをアピールすることが、数年後の競争力になると思っています。今こそ断熱性能についてはどこも当たり前には言っていますが、断熱性能を8年、10年前から語っていたのがハイアスの強みだと思っていますので、それに続くものとして、健康に関しても今のうちからどんどんアピールしていきたいと思い、プレスリリースさせていただきます。

施策③ その他:「楽天Stay x WILLSTYLE」事業の状況

場所	島根県松江市
価格	16,800円~/一泊
宿泊可能人数	2人~5人

今後も続々とオープン予定。

(京都、長野、長崎、群馬、沖縄、滋賀、山梨、大分、福岡)

オープン予定	立地検討エリア
9箇所	70箇所

1号店 2018年5月オープン

HyAS&Co. © 2018 HyAS&Co., Inc. All Right Reserved. 28

最後に、楽天LIFULL STAYさんと組んでリリースした戸建ての宿泊施設 Rakuten STAY HOUSE×WILL STYLEについてです。ようやく1号棟が動き出しました。場所は島根県の松江市にあります。この商材は、戸建て賃貸の商材を宿泊用に合わせてリニューアルしたバージョンです。一般的にこの島根県松江市で戸建て賃貸の場合は、家賃収入では月8万円から9万円ぐらいなのですが、この宿泊施設は6月のオープンから宿泊料収入がおおよそ月40万円から60万円に推移しています。稼働率が80%を超えていますので、ホテル業の定義を使うとずっと満室という状態が続いている建物になります。つまり、本来ですと8万~9万円の収入であるところが40~50万円を毎月稼げているということで、非常に回収のスピードが速いということが実証できてきております。また、こういった建物を今後も次々としていこうと計画しておりまして、もうすでに京都、長野、長崎、群馬等が候補地となっています。こちらに関しては相当インパクトを与えることが今後できるのではないかと考えております。

また、ここには記載はしませんが、大手宿泊予約では、こちらの松江の物件は10点満点で9.5の点数が付いております。まだ1棟目ですので皆さんのお耳に伝わったことはないかもしれませんが、今後どんどんと出していく予定になっておりますのでご期待いただきたいと考えております。

少し矢継ぎ早になりましたけれども、上期の状況としてお伝えしたいと思っていたところは以上となります。ありがとうございました。

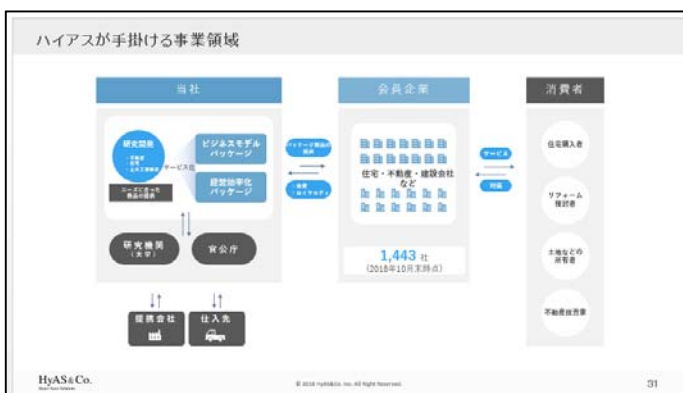


会社情報

会社基礎情報

会社名	ハイアス・アンド・カンパニー株式会社 HyAS & Co. Inc.	役員	代表取締役社長 : 瀧村 聖一 取締役常務執行役員 : 川瀬 太志 取締役常務執行役員 : 椿内 和徳 取締役執行役員 : 西野 敦雄 取締役執行役員 : 中山 史幸 取締役執行役員 : 稲島 寛人 取締役執行役員 : 嶋崎 達郎 社外取締役 : 沢原 保彦 社外取締役 : 赤井 厚雄 社外取締役 : 森田 正彦 常勤監査役 : 大津 和行 社外監査役 : 山本 泰功 社外監査役 : 坂田 真吾
設立日	2005年3月31日		
資本金	4億63万円 (2018年10月31日時点)		
代表者	瀧村 聖一 (ハムムラ セイイチ)		
従業員数	191名 (2018年10月31日時点)		
所在地	東京都品川区上大崎二丁目24番9号 アイグレイビルディング5F		

HyAS&Co. © 2018 HyAS&Co. Inc. All Rights Reserved. 30



企業沿革

沿革

2009年2月	株式会社アール・プラスの前身である株式会社アール・プラスを設立（資本金400万円）	2016年4月	新築事業部門をアール・プラスに統合
2008年2月	アール・プラスに株式会社アール・プラス（現「アール・プラス」）を吸収合併	2016年8月	株式会社アール・プラスを設立（現「アール・プラス」）
2012年5月	株式会社アール・プラス（現「アール・プラス」）を吸収合併	2016年10月	「不動産総合情報サービス」をリリース
2013年1月	株式会社アール・プラス（現「アール・プラス」）を吸収合併	2017年1月	株式会社アール・プラス・マネジメントを設立（現「アール・プラス」）
2013年4月	株式会社アール・プラス（現「アール・プラス」）を吸収合併	2017年3月	株式会社アール・プラス・マネジメントを設立（現「アール・プラス」）
2014年1月	株式会社アール・プラス（現「アール・プラス」）を吸収合併	2018年2月	ハイアス・マネジメントを設立（現「アール・プラス」）
2014年6月	株式会社アール・プラス（現「アール・プラス」）を吸収合併	2018年5月	ハイアス・マネジメントを設立（現「アール・プラス」）
2015年8月	株式会社アール・プラス（現「アール・プラス」）を吸収合併	2018年8月	株式会社アール・プラス・マネジメントを設立（現「アール・プラス」）
2015年8月	株式会社アール・プラス（現「アール・プラス」）を吸収合併	2018年11月	株式会社アール・プラス・マネジメントを設立（現「アール・プラス」）

HyAS&Co.

© 2019 HyAS&Co. Inc. All Right Reserved.

32

株式・株主の状況

株式・株主数		上位株主（1位～10位）の状況			
発行可能株式総数	66,960,000株	2019年3月31日現在			
発行済株式数	22,944,500株	順位	株主氏名又は名称		
株主数(個人株主)	4,018名		所有株式数 (株)		
			所有株式数 の割合		
		1	渡村 聖一	2,060,289	8.98%
		2	杉内 和浩	1,411,845	6.15%
		3	川瀬 大志	1,229,035	5.36%
		4	株式会社HAMAMURA HD	1,200,000	5.23%
		5	株式会社安成工務店	1,197,000	5.22%
		6	大津 和行	1,079,011	4.70%
		7	豊新住建株式会社	720,000	3.14%
		8	ハイアス・マネジメント・カンパニー 株式会社 従業員持株会	697,400	3.04%
		9	中山 支那	608,035	2.65%
		10	GMOクリック証券株式会社	516,800	2.25%

HyAS&Co.

© 2019 HyAS&Co. Inc. All Right Reserved.

33

セグメント別の損益状況①（事業別:前期比）

	(百万円)		
	2018年4月期 2Q実績	2019年4月期 2Q実績	増減
	2017/5/1～2017/10/31	2018/5/1～2018/10/31	
売上高	2,216	2,755	+539
コンサルティング	2,211	2,580	+369
建築施工	42	197	+155
その他	-37	-22	+15
営業利益	146	132	-14
コンサルティング	164	190	+26
建築施工	-8	-50	-42
その他	-9	-7	+2

HyAS&Co.

© 2019 HyAS&Co. Inc. All Right Reserved.

34

セグメント別の損益状況①（事業別：予想比、進捗）

	2019年4月期		増減	2019年4月期	
	2Q予想	2Q実績		通期予想	進捗率
	2018/5/1-2018/10/31	2018/5/1-2018/10/31		2018/5/1-2018/4/30	(2Q実績予想)
売上高	2,721	2,755	+34	6,300	43.7%
コンサルティング	2,487	2,580	+93	5,484	47.0%
建築施工	249	197	-52	846	23.3%
その他	-15	-22	-7	-30	-
営業利益	93	132	+39	500	26.4%
コンサルティング	157	190	+33	574	33.1%
建築施工	-49	-50	-1	-44	-
その他	-15	-7	8	-30	-

HyAS&Co.

© 2018 HyAS&Co., Inc. All rights reserved.

35

セグメント別の損益状況②（パッケージ別：前期比）

	2019年4月期		増減
	2018年4月期	2019年4月期	
	2Q実績	2Q実績	
	2017/5/1-2017/10/31	2018/5/1-2018/10/31	
売上高	2,216	2,755	+539
ビジネスモデルパッケージ	1,752	2,051	+299
経営効率化パッケージ	282	277	-5
その他	182	426	+244
売上総利益	1,351	1,812	+461
ビジネスモデルパッケージ	899	1,275	+376
経営効率化パッケージ	250	246	-4
その他	202	290	+88

HyAS&Co.

© 2018 HyAS&Co., Inc. All rights reserved.

36

セグメント別の損益状況③（パッケージ別：予想比、進捗）

	2019年4月期		増減	2019年4月期	
	2Q予想	2Q実績		通期予想	進捗率
	2018/5/1-2018/10/31	2018/5/1-2018/10/31		2018/5/1-2018/4/30	(2Q実績予想)
売上高	2,721	2,755	+34	6,300	43.7%
ビジネスモデルパッケージ	2,088	2,051	-37	4,615	44.4%
経営効率化パッケージ	303	277	-26	617	44.9%
その他	329	426	+97	1,967	21.7%
売上総利益	1,920	1,812	-108	4,291	42.2%
ビジネスモデルパッケージ	1,359	1,275	-84	2,961	43.1%
経営効率化パッケージ	265	246	-19	541	45.5%
その他	295	290	-5	788	36.8%

HyAS&Co.

© 2018 HyAS&Co., Inc. All rights reserved.

37

セグメント別の損益状況③(収益形態別:前期比)

	2018年4月期 2Q実績		増減
	2017/9/1-2017/10/31	2018/9/1-2018/10/31	
売上高	2,216	2,755	+539
初期導入フィー	461	440	-21
ロイヤルティ等	1,136	1,585	+449
会費	618	728	+110
売上総利益	1,351	1,812	+461
初期導入フィー	380	385	+5
ロイヤルティ等	461	817	+356
会費	508	609	+101

HyAS&Co.

© 2018 HyAS&Co., Inc. All Rights Reserved.

38

セグメント別の損益状況④(収益形態別:予想比、進捗)

	2019年4月期 2Q予想		増減	2019年4月期 進捗率	
	2018/9/1-2018/10/31	2018/9/1-2018/10/31		2018/9/1-2018/4/30	(2Q/通期予想)
売上高	2,721	2,755	+34	6,300	43.7%
初期導入フィー	583	440	-143	1,200	36.7%
ロイヤルティ等	1,374	1,585	+211	3,499	45.3%
会費	762	728	-34	1,600	45.5%
売上総利益	1,920	1,812	-108	4,291	42.2%
初期導入フィー	520	385	-135	1,061	36.3%
ロイヤルティ等	764	817	+53	1,891	43.2%
会費	635	609	-26	1,338	45.5%

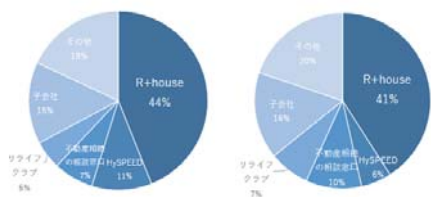
HyAS&Co.

© 2018 HyAS&Co., Inc. All Rights Reserved.

39

商材別の構成比

2019年4月期2Q実績売上高 | 2019年4月期2Q実績売上総利益



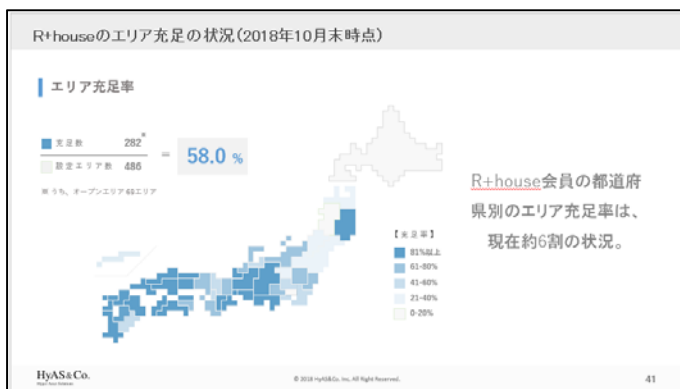
売上の大きい商材

- 1位: R+house
- 2位: HySPEED
- 3位: 不動産相続の相談窓口
- 4位: リライフクラブ

HyAS&Co.

© 2018 HyAS&Co., Inc. All Rights Reserved.

40



ディスクレイマー

将来見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、将来の見通しに関する情報を含みません。

これらは、現在における入手可能な情報に基づく当社の判断によるものであり、将来の業績を保証するものではなく、実際には、これらの記述とは異なる結果を招き得る可能性や不確実性を含んでおります。

それらの可能性や不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる将来の見通しに関する情報の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

HyAS&Co. © 2018 HyAS&Co., Inc. All Right Reserved. 42

HyAS&Co.
Hyper Asset Solutions

住宅による資産形成を支える会社。